

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2018年	11月	5日	記入者	大谷巳弥子
調査者名	大谷	亀田			

調査対象先	東南院				
所在地	吉野郡吉野町吉野山2416			電話番号	0746-32-3005
代表者 調査対応者	坊守 五條 須麻子さん				
対象文化財	彫刻	県指定:	1件	国宝:	件
	建造物	県指定:	件 棟	国宝:	件 棟
				重文:	件
				重文:	件 棟

地震対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input checked="" type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	
	今後の予定	
	要望	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input checked="" type="checkbox"/> 昭和12年に紀州野上の八幡宮から移築された多宝塔の本尊として祀られており、特に地震対策を考えたことは無い。
	今後の予定	特になし
	要望	特になし

防火対策

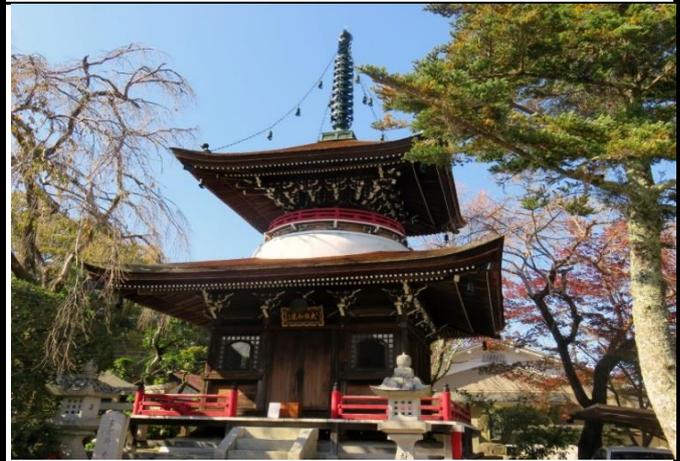
①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	多宝塔内の天井数カ所と軒下に火災感知器が設置されており、本堂内の火災受信機に通報されるシステムになっている。また、消火器も配備されており、年に1回消防署が点検している。
	今後の予定	特になし
	要望	特になし
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他( )
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	東南院
-------	-----

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input type="radio"/> A: 経験あり	<input checked="" type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	
③ 今後	今後の予定、要望	アライグマを見たことはあるが、特に被害は無いので、対策の予定は無い。

大峰山護寺院の一つ、宿坊となっている東南院の門 室町時代の建立とされ、昭和12年に移築された多宝塔



11～12世紀の作と伝わる木造大日如来坐像(県指定)

災害時緊急避難場所となっている行者堂



本堂(宿坊)内に設置の火災受信機、消火設備

【調査票記入者(大谷巳弥子)の感想】



大峰山寺護持院のひとつで、宿坊も営んでおられるので、防災対策に問題はない。調査対象の仏像を安置する多宝塔は、昭和12年に紀州野上から、いくつかの候補地を抑えてこの地に移築されたそうで、おかげで戦災に逢わずに済み幸いだったと思う。